



近年、さまざまな事情で学校に通うことが難しい児童や生徒が全国的に増加しています。長岡市でも傾向は同じで、昨年度には500人を超える不登校の小中学生がいました。そこで今年度、市は不登校への支援を拡充。子ども一人ひとりに寄り添い、きめ細やかな支援を展開します。

## 不登校の子どもたちにも 寄り添い、支えます

閩学校教育課 ☎ 39・2249

安心して過ごせる  
新たな居場所を整備

自宅にこもりがちな子どもの居場所として、9月に「ほっとルーム」を開設しました。子どもたちは自ら利用時間を決めて自分らしく過ごします。自尊心を高め、社会とつながりを持てるよう後押しします。

専門の相談員を配置  
気軽に相談を

また、自立支援コーディネーターやスクールソーシャルワーカーなどの専門相談員を新たに配置。学校や医療、福祉などの関係機関と連携を強化し、積極的な働きかけで、早期支援につなげます。

## 台風シーズン

# とるべき行動の確認を！

全国各地で台風による甚大な被害が相次いでいます。事前の備えが、大切な命を守ります。洪水・土砂災害のハザードマップ（右）などで自宅の危険性や避難行動を確認しておきましょう。  
閩危機管理防災本部 ☎ 39・2262



### 洪水

【信濃川増水の場合】長岡方式の避難行動で命を守る

命を守る行動を再確認。複数の避難先を想定し、“より早く”行動しましょう。

まずは①または②の行動を

#### ①浸水しない場所へ車などで避難

ポイント

- 浸水前に限る
- 浸水しない知人・親戚宅や下記の避難場所へ



指定緊急避難場所

浸水しない地域（洪水ハザードマップで白色の地域）にある避難場所を開設します。

車中避難場所

浸水しない地域にある公共・民間施設の駐車場、学校のグラウンドなどを、車での避難の一時的な滞在場所として開放します。



#### ②自宅の上の階への避難を準備

ポイント

- 洪水ハザードマップで自宅の浸水の深さや倒壊の危険性を確認し、安全な場合に限る
- 3日分以上の食料や水を備蓄
- 車を浸水しない場所に移動



◀約2,700人が参加した「長岡方式の避難行動」での防災訓練。水害時の施設利用協定を締結した㈱ダイナム見附店の駐車場には、市民約30人が広域避難しました。（8月27日）

#### 近くの市指定の緊急避難場所へ

①・②が  
困難な場合

ポイント

- 避難は車ではなく徒歩で
- 食料や水、常備薬などを持参



### 土砂災害 「いつもと違う」に注意

- 長雨や急な大雨
  - 土地に亀裂が生じた
  - 川の水の量が変化したり、濁りだしたりした
- 異常があればすぐに連絡してください。  
閩河川港湾課 ☎ 39・2233、  
県長岡地域振興局治水課 ☎ 38・2629

### 暴風

風が強くなる前に準備を

物干しざおや植木鉢など、風で飛ばされる恐れがあるものは片付けましょう。

#### トピックス

山火事被害の米ハワイ州  
マウイ島にエール

閩国際交流課 ☎ 39・2207

姉妹都市ホノルル市との交流を契機に、つながりがあるハワイ州・マウイ郡。8月8日の山火事による甚大な被害を見舞い、多くの災害から復興した長岡の想いを込めた励ましのメッセージと義援金を送りました。

ながおかDメールプラス（右）  
に事前に登録を

避難情報や防災情報を配信します。



避難所にペットを同行できます

一部の避難所で犬や猫などのペットの受け入れ体制を整えました。ペットを連れての避難方法やしつけなどを確認しましょう。

閩環境業務課 ☎ 24・2837



▲詳しくは  
はこちら

### ありのままの自分に 自信を持ってほしい

田覚 敏子・自立支援  
コーディネーター

ほっとルームは、人と関わるのが苦手な子や自宅にこもりがちな子が、一歩踏み出して「ほっ」と過ごせる新たな居場所です。自分らしく過ごすことで、自分に自信を持てるよう私たちが見守ります。

悩みや不安があれば抱え込まず、気軽に相談してください。お子さんの状況や気持ちをよく聞き、それぞれのペースに合ったやり方で支えていきます。

### 一人ひとりに合った方法でサポートします

新規  
ほっとルーム



学習・くつろぎ・遊びのスペースを備え、子どもたちは学習や読書など思い思いの時間を過ごします。



◀壁面の一部は自由に表現できるホワイトボード

個別相談



お子さんと好きなことや興味のあることをしたり、話をしたりします。また、保護者と面談し、子どもとの関わり方などを一緒に考えます。

フレンドリー  
ルーム



学習などの個人活動のほか、子ども同士の交流活動や体験活動を行います。市内に4カ所あります。

拡充  
訪問支援



家にこもりがちな子どもの家庭訪問や、学校などでの相談や学習支援をします。

### まずは子ども・青少年相談 センターにお電話を

各施設の利用には相談が必要です。面接などの個別相談を踏まえ、支援方法を提案します。  
相談対象＝小学生～19歳の子ども・青少年とその保護者

☎ 32・3663  
平日午前9時～午後6時

メールでも  
相談できます。  
詳しくはこちら

